

令和7年度 学校目標

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	自立と社会参加を目指し、小学部から高等部までの教育内容を見直し、キャリア教育の観点から、系統的に再編成し、教育課程の改善を図る。	①キャリア教育の観点から、学習単元を整理し、学びの連続性の構築に向けた教育課程の編成を推進する。 ②開校50周年を意識した授業を行い、児童生徒が自分の学校に愛着を持てるようにする。	①知肢統一における各学部の学習内容と校外行事（泊を伴う行事を含む）の連続性・系統性のある教育課程について、学部行事チームを中心に検討する。 ②年間を通して、計画的に開校50周年を意識した学習に取り組む。	①知肢統一の諸課題と校外行事の連続性・系統性のある教育課程について検討して改善することができたか。 ②児童・生徒が自分の学校に愛着を持ち、50周年を意識した学習に取り組むことができたか。
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	主体的に学び、課題を解決する力の獲得を目指し、児童・生徒一人ひとりの実態に応じた指導・支援に取り組むとともに「わかる」授業を行うための授業改善を行う。	①児童・生徒の実態を客観的に捉え、児童・生徒のニーズに応じた指導・支援を行う。 ②一人1台端末を活用して、主体的に学ぶことができる授業を展開する。	①フォーマルアセスメントを活用し、新個別教育計画と年間指導計画を作成し、関係者間で共有して指導・支援を実践する。 ②児童・生徒が主体的にICT機器を活用した授業について、情報整備チームを中心に情報教育を推進していく。	①新個別教育計画と年間指導計画を活用して、児童・生徒のニーズに応じた指導・支援を行うことができたか。 ②児童・生徒が一人1台端末を活用して、主体的に学ぶことができたか。
3	進路指導・支援	地域での豊かな生活や「なりたい自分」を思い描き、自ら進路選択を実現できるような指導・支援を行う。	①キャリアパスポートを活用し、次のステージを想定して、児童・生徒が自信をもって取り組めるキャリア教育を実践する。 ②地域や関係機関と連携を図り、児童・生徒の社会参加に結び付く、指導支援を行う。	①キャリアパスポートの目的や意義について、児童・生徒、保護者と共通理解しながら、活動について振り返りを行う。 ②地域資源を活用し、地域や関係機関の人と関わりを持つ機会を設定する。	①キャリアパスポートを活用し、有効な指導に結び付けることができたか。 ②地域の資源を活用した授業を設定したか。学校内外の人と関わりを持つ機会を設定できたか。
4	地域等との協働	共生社会の実現を目指し、地域との連携や相互資源活用を通して、共生社会の担い手となる人を育てる。	①相互資源活用により、地域の学校との交流や共同学習を定着・発展させ、共生社会の実現に向けて理解推進を図る。 ②地域や近隣施設と協働して地域防災力を強化する。	①各学部にTMAPの理念を浸透させ、地域や近隣の学校等、交流や共同学習を推進し、地域資源を活用した授業を設定する。 ②学校運営協議会に新たに設置した部会で地域の防災について連携を図る。	①交流等を通して、児童・生徒間の相互理解が進んだか。また、取り組みを地域や保護者に発信することができたか。 ②地域や近隣の学校と協力体制を結べたか。
5	学校管理 学校運営	安全な環境を整備し、児童・生徒が安心して学ぶことができる学校づくりを推進する。個の資質に大きく依存しない組織であり、人権を大切にしたい「学び合い」「支え合う」組織づくりを促進する。	①児童・生徒が自ら身を守る力や支援者としての力をつけられる防災教育に取り組む。 ②教職員一人ひとりが主体的に課題意識を持ち、同僚性を高め、互いを支えあう。	①発達段階に応じた避難訓練等の防災教育を通して、児童・生徒が自ら身を守る行動がとれるようにする。 ②不祥事防止、働き方改革、人材育成等について、研修等を定期的に行う。コミュニケーションを大切にして、互いの心身の変化に気づけるようにする。	①防災教育を通して児童・生徒が自ら身を守る行動がとれるようになったか。 ②諸課題を自分事と捉えて行動することができたか。業務改善を図り、教員同士、コミュニケーションを図り、同僚性を高めることができたか。